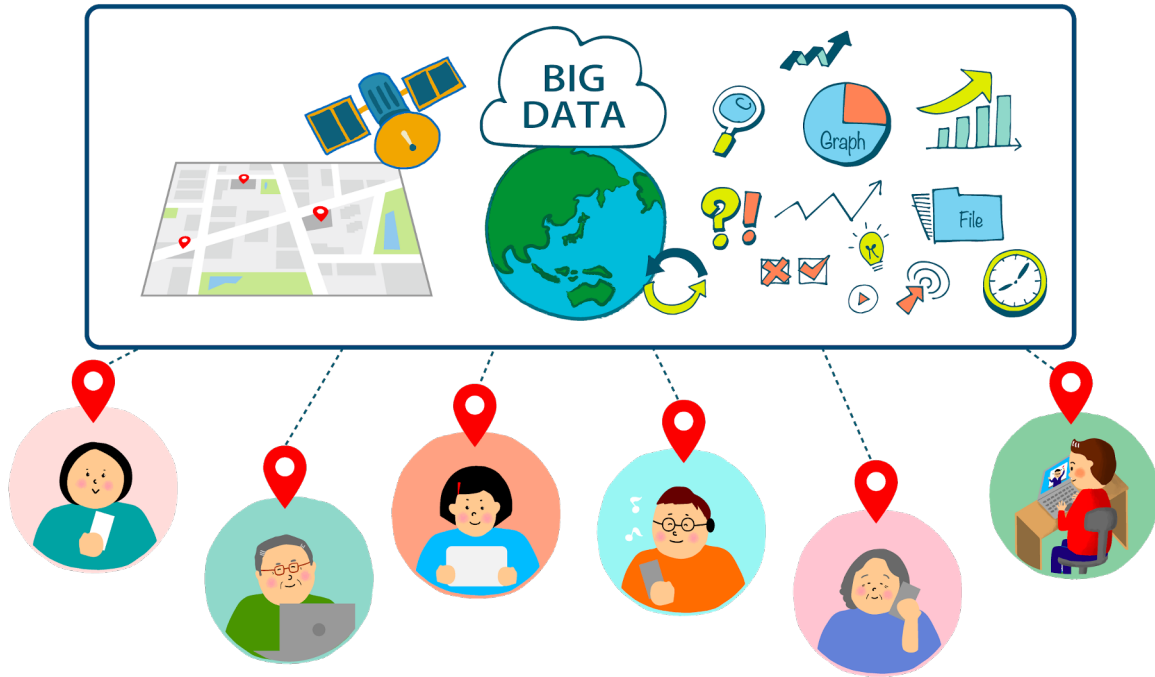


# 位置情報等のデバイスロケーションデータの利活用にあたって、 スマートデバイス利用者のプライバシーに配慮する取り組み

スマートフォンやタブレットから許諾を得た上で取得される位置情報等のデバイスロケーションデータが、社会で広く利活用されています。



企業が位置情報等のデータを正しく大切に扱い、誰もが安心できる形で有効な利活用がされるよう、社団法人LBMA Japanに加盟する企業が遵守するルールを「**共通ガイドライン**」として定めています。



共通ガイドラインは、法令遵守はもちろん、倫理面や社会風潮にも配慮して策定を行っています。

## 社会的な認知と合意



## 法令・指針の遵守



## 人々の心情への配慮



LBMA Japanは、デバイスロケーションデータの正しく、有効な利活用を進める活動を行っています。

## プライバシーに配慮した利活用を進めます

- ・ 個人情報（氏名や連絡先など）は取得されません。
- ・ 個人が特定されないよう、データに加工が施されます。
- ・ 差別や偏見の生じるような利活用は禁止しています。



## データ利活用の透明性向上に努めます

- ・ データの提供はあなたの同意を得て行われます。
- ・ データの提供や利活用はいつでも停止することができます。



## あなたの生活をちょっぴり便利にします

- ・ お気に入りのお店のセール情報や、近くの飲食店の割引クーポンなどが届きます。
- ・ 天気予報や交通情報、気になる近隣のニュースなどを受け取ることができます。



## よりよい社会づくりに役立っています

- ・ 交通機関の混雑回避や商業施設の新規出店などの参考として、暮らしの向上に活かされています。
- ・ 災害対策やインフラの整備など、学術研究や公共分野での活用も進んでいます。

